就労支援部会

部会長 高木

第一回 令和6年7月25日（9名出席）

- (1) 各委員の所属機関での障がい者就労に関する近況、課題等を報告
- (2) 市就労支援員の実績報告
- (3) 白井市出張相談会企画(案)について
- (4) 就労応援フェアの今後について

令和6年10月21日 白井市出張相談会を開催

第二回 令和6年11月28日（13名出席）

- (1) 各委員の所属機関での障がい者就労に関する近況、課題等を報告
- (2) 白井市出張相談会の報告
- (3) 障がい者就労応援フェア in 白井について

令和7年2月3日 就労応援フェア in 白井を開催

第三回 令和7年2月20日（9名出席）

- (1) 各委員の所属機関での障がい者就労に関する近況、課題等を報告
- (2) 障がい者就労応援フェア in 白井の報告
- (3) 事業所間での情報共有・交流について

令和6年度 要旨

【各委員の所属機関での障がい者就労に関する情報共有、課題の整理】

○就労について

- ・ これまで長く就労が安定しなかった方が、相談支援事業所や就労移行支援など様々な支援機関が連携し、就職や就労に結びついた事例がある。
- ・ 体調の波や変化により、就職・通所できてはなかなかつづかない方もいる。

○地域等の課題

- ・ 特別支援学校で卒業後の就職活動をする際に、家からの公共交通機関が利用しやすいかどうかで就労先の選択肢の幅がかなり異なる。また、生活介護とB型事業所の中間で悩む方も多く送迎のニーズはかなり高い。
- ・ 工業団地では、安全確保が第一になるため、各企業仕事の切り出しが難しく雇用まで結びつかない。特別事業組合の設立し、特例子会社のようにできないか検討していたところであったが、国に問いあわせたところ制度上できず違うやり方を検討しなければならない。

(まとめ)

- ・障がいのある方の就労について、支援者や家族など様々な視点で情報共有・意見交換等ができた。
- ・出張相談会・応援フェアについては実施方法や段取りについて課題はあるが、参加した人にとっては、有意義な機会となったと考える。

(次年度に向けて)

- ・出張相談会については、就労に関する相談だけではなく、相談WGとの共催なども考えることができる。
- ・応援フェアについて、2回目の開催となったが、前回からの引継ぎ・準備期間の不足があった。次年度については余裕を持ったスケジュールリングで準備・実施する。また、周知の方法を考える。
- ・支援者同士・事業所間で情報交換などができる場の検討を行う。

【白井市出張相談会報告】

- ・ 福祉的就労について知られていない、新規就職希望者の相談にさらに応じる必要がある、との課題から、今年度で4回目となる出張相談会を実施した。
- ・ 相談内容が就労だけでないため、相談WGと一緒に開催することも検討する。
- ・ 運営側が関わっている相談者が多くを占めていたため、相談会の情報が届かない方へどのように伝えていくかが課題。

対応：明朗塾（高木氏）、就労支援部会（鈴木委員、大網委員、会田協力者）、就職するなら明朗塾 藤井氏、寺尾氏事務局（高橋、會津）

参加者

1部 4名

2部 4名

【就労支援フェア in 白井報告】

- ・ 今年度で2回目の開催となった。
- ・ 参加企業は4社。光明会を中心として、就労支援部会委員の方にご協力いただき、開催した。企業の方のお話を直接聞ける経験は、就労を目指す方のモチベーション向上にもつながると思われる。
- ・ 当日までの準備期間がタイトであったこと、昨年度からの引継ぎが不十分であったこと、周知期間や方法が不足していたことが次年度への課題。
- ・ 求職者は22名が参加。部屋のスペース的には、ちょうどいいと感じた。これ以上の参加規模での開催を考えると開催場所の検討も必要と思われる。
- ・ フェアの後、11名の方が見学を希望され、調整を開始している。実習含めた調整は4月以降も必要になると思われる。
- ・ 見学後の調整は障害者就業・生活支援センター就職するなら明朗塾は行わない決定となったため、白井キャンパスが対応しているが、次年度は自立支援協議会の協力を仰ぎたい。